

一般質問26人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、ホームページまたは議会事務局にて閲覧できます。なお、12月定例会会議録は3月中旬から閲覧可能です。

柳路 幸雄

行政改革の取組みについて

問 指定管理者制度は表郷クリニック、表郷、大信、東地区のデイサービスセンター、中心市街地市民交流センターに導入、19年度は東文化センターを予定しています。定員適正化計画は合併年度を基準に5年間とし、合併協議の方針により採用者は当該年度の70%としています。将来の財政状況、人口動態の変化、スケール・メリットを考えると見直しが必要で、現在、行政改革懇談会で審議しています。エコオフィスしらかわプランの構築は平成19年度の計画基準のデータを収集しています。結果を踏まえ目標年度、目標値を決定し、実施します。

答 19年度予算編成の基本は、財政健全化を第一義とし、経常経費は18年度当初予算の一般財源ベースで5%以上削減した額を要求しています。全市の均衡ある発展を念頭に

置き、緊急性や必要性に配慮し、継続事業の白河南部中学校改築事業、図書館建設事業、保育施設整備事業、道路整備事業、農業集落排水事業の推進に努めてまいります。

穂積 栄治

地域自治区について

問 自治区で、住民の要望に速やかにこたえられることが、新市の融和につながるかと考えます。群馬県沼田市では、「沼田市地域振興等支援事業補助金」という地域自治区の判断で支出できる予算があります。今後白河市では、このような地域振興費の予算を設ける考えがありますか。

答 本市では、本年度「白河市市民協働推進事業補助金」を創設したところで、運用方法や予算規模等の相違はあるものの、沼田市の制度と類似性があるものと認識しています。また、地域自治区の判断で補助金の交付決定を行う場合、同一の事業内容であって

も、地域間におけるアンバランスが生ずることが懸念されるので、今後、道路維持費等の生活基盤形成のための建設予算を提案していきたいと考えています。

第2白鳥団地について

問 現況と、価格見直しの見通しについて伺います。

答 48区画が未販売となり、現在は、価格も含め具体的な販売戦略の取り組みを検討してまいります。

深谷 幸次郎

平成19年度予算編成方針について伺います。

答 平成19年度予算編成については、歳入面で地方交付税の減額などが予想されることから、平成18年度にも増して厳しい状況となっています。歳入の厳しい状況と財政健全化に考慮し、事務事業について徹底した見直しを行い、経常経費等については、平成18年度当初予算の一般財源ベースで、5%以上の削減した額により要求させることとしています。また、主な事業については、平成18年度の継続事業である白河南部中学校改築事

業や図書館建設に係る実施設計、保育施設整備、道路整備事業など予定しています。

問 市政懇談会について、市長の基本的な考え方について伺います。

答 市民と行政が市政に関して身近に気軽に意見の交換を行い、市民協働のまちづくりを促進するためにも重要な事業であると考えています。市民からの意見などについては、財政状況や各事業計画等を考慮しながら、可能な限り今後の市政に反映できるように取り組んでいきます。

佐川 京子

市政懇談会について、市民にとって市政を身近に感じられる機会なので、防災無線を活用して周知を図り、毎年開催していただきたい。

答 平成19年度の周知方法は、各自治会と連携して多くの市民に参加していただけるよう、防災無線の活用も検討していきます。

市に対する寄附について

答 市に対し各種基金への寄附や様々な寄附をされた方々に心から感謝申し上げ、寄附をされた方々のご意志に沿っ

た運用をさせていただきます。

問 いじめ問題について、本市ではいじめ問題に余り真剣に取り組んでいなかったと思う。いじめの報告は1件もなしとされてきたが、今後はどう取り組むのか。

答 何よりもいじめを早く発見することが大切なので、いじめの早期発見を各学校に指示したところです。

「放課後子どもプラン」について

答 平成19年度は、東地域の「おのだなかよし教室」で開設を予定しています。今後の他小学校区への導入は、運営委員会を設置し検討します。

大花 務

道の駅について

答 ご承知のとおり、道の駅につきましても、道路利用者への利便提供や地域観光のPR効果、さらには、地場産品の販売活動拠点として、地域経済に与える波及効果は大きなものがあり、本市のまちづくりの観点からも、非常に期待の持てる施設であると認識しております。

国道4号沿線にあります道の駅予定地の総面積並びに取

得金額についてのおただしであります。平成9年3月に西白河酪農協同組合より取得した約1200㎡の土地と、隣接する既存の市有地等を合わせ、約8600㎡を道の駅建設予定地としたものであり、西白河酪農協同組合からの取得金額は、6277万1500円です。

なお、用地取得に際しましては、平成9年度〜平成18年度まで債務負担行為を設定しており、その利子は86万2643円となり、総額では、7142万4143円となっております。

トラック協会からの要望についても調査・研究します。

西村 栄

合併の成果について

問 1市3村が均衡のとれたまちづくりとは何か伺います。

答 新市建設計画は合併しておおむね10年を想定しております。東地域を挙げれば、今年度から北部工業団地の造成並びに接続道路の整備、岩井戸及び石原地域の集会所建設に着手するほか、深仁井田小学校線は今年度内に完了の予定、来年度は中学校グラウンド

線整備事業をはじめ、坂本地区の基盤整備など各種事業を実施すべく現在諸準備を行っているところであり、

地域自治区長の権限について

問 東自治区長の権限は何もなくなったと聞いておりますが、本当になくなったのか伺います。

答 地域自治区長は合併後一定の期間、地域の代表として地域の意見を反映させながら、合併後のまちづくりを推進しております。

東深仁井田地域の産業廃棄物処理施設建設について

答 平成16年12月15日に旧東村議会の総務常任委員会、また同12月17日に全員協議会の席上、計画の概要や事業に対する説明を行いました。

佐川 琴次

きつねうち温泉の収入増大と、経費節減の具体的対策は。

答 閑散期、昼間の集客のため、市内全域の老人会、町内会等にPRしその利用促進を図ること、火曜日休館、正月、5月、夏季の休館の廃止により年中無休化し、月曜、火曜の宿泊営業も可能にする

こと、1500円、3000円台のお膳の開発や酒の種類を増やし利用者ニーズにこたえる。

経費節減策としては、仕入れ価格の引き下げを徹底し、原価率の引き下げやタイム入浴のタオル提供を廃止、事務効率の向上を図ることとし、平成19年4月開始に向け、準備しております。

敬老会について

問 多年にわたって地域に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、さらに長寿を願っての敬老会が昨年まで9月に実施されてきました。本来であれば9月に実施すべきと思われませんが、10月に実施されたのはなぜか。

答 合併協議会の中で、9月には諸行事や市議会定例会があること、市民の一体化を図るため開催日を統一し、10月開催としたところです。

大竹 功一

老朽化している側溝の改修について、特に通学路に多いようですが、今後どのように改修を考えているのですか。

答 緊急性等も検討し、年次計画により改修していきたいと考えています。

問 現在大変問題となっている「いじめ問題」について各学校の対策はどのようにしているのですか。

答 各学校等ともPTA等と連携し、現況について保護者と先生方が報告や話し合いを行っております。また、生徒たちには先生方から「大人たちは君たちを大切に思っている。何でも相談してほしい」と伝えていきます。

泉崎虐待事件の検証委員会の報告から、虐待事件における学校の役割について大変重要であると報告がされています。特に先生方に対して専門家の研修が必要であると言われていますが、研修についてどのようにしていますか。

答 現在、学校ごとにカウンセラーの先生等から講義等を受けています。今後は専門家の研修についても検討してみたいと思います。

大竹 利男

雇用の実態調査について

問 働いても働いても、貧困から抜け出せない、働く貧困層と言われる人が非常に増えています。働いている人3人に1人、女性と若者の場合は

2人に1人がパート、アルバイト、派遣・請負など不安定な働き方を強いられています。地方自治体は格差拡大に歯止めをかける役割を果たすことが求められています。①地域雇用の実態調査を行う必要があるのではないかと。②若者の正規雇用拡大の働きかけをすべきではないか。

答 ①地域雇用の実態については、平成17年度調査では、調査対象303事業所のうち有効回答168事業所、回答率は56%となっています。正規雇用については総労働者数の77.26%となっています。派遣社員は4.30%となっています。

②若者の正規雇用の働きかけについては、「福島県就職サポートセンター」の相談業務の広報に努めるなど、県やハローワーク白河、白河商工会議所と連携を取りながら働きかけをしていきたいと考えております。

高橋 光雄

市長は新市の最重要課題として財政改革を挙げているが、財政健全化が軌道に乗ったとき、新市建設計画事業をどうするか。

新市建設計画は合併して

答 財政をにらみながら、年次計画に沿って実行する。

問 産業政策として、特に実りのあったものは何か。

答 「工業の森・新白河」に、朝日ラバー、サクラテック、味覚糖の進出が決まった。味覚糖の進出は、議員が指摘するところの産業基盤整備であるスマートIC構想決定が大きな要因と聞いている。県東京事務所への派遣職員は、企業誘致・設備投資検討企業掘り起こし、市内企業の受発注機会拡大に努め、現在3社と誘致交渉を継続している。

問 南湖公園の環境保護と観光資源としての有効活用は。

答 将来、公園内道路は交通止めを目指す。「市民の森」駐車場は、市民懇談会から一小側にとの中間答申を得た。大型車の駐車場は、関係各課と協議する。

問 義秀文学賞と顕彰会をどう支援するのか。議員、市職員が率先して入会し、多くの市民に協力を願ってはどうか。

答 会員の方々の意見を伺って、継続支援を協議する。

吉田洋

問 平成19年度の地方交付税は減額が予想され、厳しい財政状況の中、補助事業の活用、自主財源の軽減を図る。また、企業誘致も行い、人口増、地域活性化対策も積極的に展開します。さらに、市税滞納者の税負担の公平性を担保しながら収納管理、滞納整理に係る組織機構の見直しなど滞納処分を強化する。

問 県道白河石川線の整備について

答 蕪内細倉間の歩道整備は、市町村合併支援事業として要望しており、事業採択を強く要望します。また、日陰対策についても、地権者と県と市の話し合いを早急に進める。

問 今後の市町村合併について

答 西白河地方は一つであるべきと考え、合併の門戸を開き続けます。また、広域合併については、今後は来るべき新時代の情報収集に努め、本

市にとって最善の道を見極め、適切に判断する。

問 子供たちが楽しく安全に遊べる遊園地の整備と遊具設置について、既設の遊具は壊れると撤去して設置されないため、遊具が無くなっている。幼児等は遊具が必要です。

答 最近遊園地の利用が少ないため、遊具の新設は近年行っていない。各所管と遊び場の整備を検討していきます。

問 子育て支援のため、子供の医療費を小中学生まで無料化を実施してほしい。

答 どのくらいの財源が必要と思われるか。

問 高年齢世帯の火災警報器の設置促進と近所にわかる戸外用警報器も併せて設置を行うはどうか。

答 緊急通報システム装置を設置している所から室内用警報器を順次設置し、今年度は50基を設置します。

問 介護保険制度の改正で軽介護度の福祉用具の取り上げ

にこたえられない状況にあり、整備しなければならぬとの認識は変わりません。今後地域協議会等からの意見要望など参考にしながら整備内容、時期等検討していきます。

問 整備促進の市長要望施政を伺います。

答 市営ふるさとの森、またこの路線は会津に通じる観光ルートの要素も兼ね備えており、毎年実施している事業調査会議の中で強く促進を要望しています。また、県土木部県南建設事務所へ出向いたとさなど、今後も継続的に要望活動を実施してまいります。

問 大信自治区にとって重要な路線であり、国道118号までの未整備距離を伺います。

答 未整備区間は7.8kmです。

問 昨年度は505万6000円の事業予算でしたが、住民の署名をいただき陳情を実施しました。平成18年度の予算状況を伺います。

答 950万円の事業費で、整備延長は154mです。

問 対策と被害状況を伺います。

答 車イス3人、ベットが40人おり、そのうち自費で購入したり、レンタル料を払っている人もおります。

問 公用車の小型化と低公害車について

答 現在の保有台数は157台となっております。1台当たりの年間経費は、平均走行距離約8500kmであり、これを基本として試算しますと、車検・燃料等を含め、普通車で約17万6000円、軽自動車約11万4000円となっております。

問 老朽化に伴う新車購入時には、ハイブリット車や軽自動車をはじめ、小型車など低燃費・低公害車を優先して導入するよう努めてまいりたいと考えております。

問 成年後見制度の利用について

答 制度発足以来、現在まで当市に対し通知があった件数は39件となっております。本制度の市民に対する対策は、広報やパンフレットの配布を行い、周知を行ってきたところであり、また、介護サ-

ビス利用などに際して、相談等があった場合に本制度の説明をするなど必要に応じて対応してきたところです。今後とも、広報白河を活用するなどして、成年後見制度の周知に努めてまいります。

問 平成19年度予算編成に当たっての施策の柱は。

答 人材育成のための教育、子育てを基軸に、市民が主人公のもと、住民サービス、市勢進展を図ってまいります。

問 各地域の均衡ある発展のための事業は。

答 平成18年度からの継続事業の南部中学校建設、図書館建設、表郷のなか地区農集排事業、大信の保育所建設、東の工業団地造成を中心に、新規事業は財政を見極めながら検討します。

問 各庁舎の職員は現員維持が原則と思うが。

答 今年度中に定める行政改革大綱に基づき、簡素で効率的な組織に改編していきます。

問 県知事汚職事件は残念な限りです、市長はこの教訓をどう市政執行上生かしていきますか。

答 少人数学級、少人数指導に取り組むとともに、市単独で介助員を採用し特別支援教育に力を入れています。さらには学校、家庭、地域の連携、協力を強め、特色ある学校づくりのため「学校運営協議会」(仮称)の設置に取り組んでいきたい。学力向上対策としては「白河市学力向上推進会議」を設置し、市内の全小中学校で共通理解、共通実践を図っております。

答 市民に失望感を与え、自治体に対する信頼感が揺らいでいることに遺憾を感じています。当市では事業部から独立した工事契約検査課を設置するなど、透明性、公開性を高めているが、この事件を対岸の火事とせず、更なる綱紀粛正に努めていきます。

矢口秀章

問 道路特定財源が一般財源化されることは、道路行政が遅れている当地方にとって大変問題だと思いが、市長の考えを伺います。

答 道路財源制度は立ち遅れた所の整備を推進するために、利用者、所有者に負担を求めて道路を整備するための制度です。当白河地方も整備が遅れており、4市村の合併により均衡ある発展のためにもこの制度は必要であり、県市長会、全国市長会等を通じその存続を強く要請していきたいと考えております。

問 合併特例債は9月議会で10月中には明らかにする旨の話でしたが、その結果を伺います。

答 ヒヤリングを受け県と協

議の結果18億1040万円となったところです。

問 公債費負担適正化計画を県に提出した内容を伺います。

答 実質公債費比率が18%を超える団体が提出するもので、県の指導も受け財政健全化に向けてあらゆる角度から検討し、今年度中には作成提出したいと考えています。

吾妻一郎

問 表郷地域集落排水事業で、まだ整備されていない中野・内松・犬神地区の整備計画について伺います。

答 3地区合わせて123戸、地域の状況を調査し、地域の特性を踏まえて整備を検討していきます。

問 陳情など議会で採択されながら、まだ整備されていない表郷地区の道路整備の件数と整備計画を伺います。

答 請願・陳情の件数は60件で、整備済が26件、未整備が34件です。生活環境を確立するため重要であり、年次計画により整備を進めていきます。

問 複合文化施設建設について改めて計画を伺います。

答 公民館の老朽化が著しく、住民の生涯学習に対する要求

星吉明

問 整備促進の市長要望施政を伺います。

答 市営ふるさとの森、またこの路線は会津に通じる観光ルートの要素も兼ね備えており、毎年実施している事業調査会議の中で強く促進を要望しています。また、県土木部県南建設事務所へ出向いたとさなど、今後も継続的に要望活動を実施してまいります。

問 大信自治区にとって重要な路線であり、国道118号までの未整備距離を伺います。

答 未整備区間は7.8kmです。

問 昨年度は505万6000円の事業予算でしたが、住民の署名をいただき陳情を実施しました。平成18年度の予算状況を伺います。

答 950万円の事業費で、整備延長は154mです。

問 対策と被害状況を伺います。

答 車イス3人、ベットが40人おり、そのうち自費で購入したり、レンタル料を払っている人もおります。

保を図っております。

問 随意契約の発注件数と最高契約金額は。

答 11月現在で51件、最高契約額は、3654万円（集落排水設計）。

問 見積書提出された他の業者への結果報告について。

答 随意契約の見積りは、価格の適正を欠くおそれが生じないよう2以上の者より見積りを取るようになっていて、相見積り者への説明結果報告の実施を担当課所へ指導する。

石名国光

問 高齢者のさまざまな相談に対応し、暮らしを支える包括支援センターの利用状況と地域福祉ネットワークの創設について伺います。

答 10月の相談実績は、595件で相談人数は385人です。相談内容では民生委員、司法書士等との連携が必要であり、職員が役割を担っています。

問 公共施設のバリアフリーの状況について伺います。

答 平成6年にハートビル法、8年に人にやさしいまちづくり条例の定める整備基準に基づき、施設整備を進めていま

す。

問 翠楽苑内を車いすで回遊できるように、考えを伺います。

答 高齢化社会等も考慮し日本庭園の価値や景観に配慮し、車いす等で回遊することができよう検討します。

問 入札制度改革の検討と地場産業育成の視点での見解を伺います。

答 適正な競争と透明な手続を通じて公正な入札制度の検討を行っているところです。地元業者の保護育成について十分配慮し、条件付一般競争入札などの導入について慎重に検討してまいります。

須藤博之

問 事業所内託児所に対して市としての助成はどうか。

答 財団法人21世紀職業財団が、子供を養育する労働者の雇用の継続を図るための措置として、託児施設の設置、運営、建替え又は保育遊具等の購入を行う事業主に対して費用の一部を助成しており、現段階では市としての助成は考えていません。

問 いじめの件数と指導対応について

答 11月末の調査で小学校で

7件、中学校で7件の合計14件となっています。「いじめ防止のためのチェックリスト」等を活用し、いじめの早期発見に努めるよう各学校に指示し、発見時の対応として、対応マニュアルと保護者や児童生徒に対する啓発資料を独自に作成し、各学校に配布しています。さらに相談体制の充実に向け、スクールカウンセラーのさらなる活用を図るとともに、養護教諭によるカウンセリングや各学級担任による教育相談や保護者との個別相談を充実させていきます。また、市教育委員会学校教育課で随時電話相談業務を行っています。

問 「敬老祝い商品券」の進捗とその効果、将来展望を伺う。

答 11月30日現在、換金額約621万、換金率45・4%で、ある程度の効果があり、地域経済の活性化のため、幅広い商品券の活用を検討します。

問 財源確保として、宣伝媒体を活用してはどうか。

答 広告収入は財源確保の有効な手段です。現状広告では18年度広告収入は550万円を見

山本忠男

問 「敬老祝い商品券」の進捗とその効果、将来展望を伺う。

答 11月30日現在、換金額約621万、換金率45・4%で、ある程度の効果があり、地域経済の活性化のため、幅広い商品券の活用を検討します。

問 財源確保として、宣伝媒体を活用してはどうか。

答 広告収入は財源確保の有効な手段です。現状広告では18年度広告収入は550万円を見

込んでおり、さらに調査研究し歳入確保に努めます。

問 いじめ問題について

答 11月現在、指導中のいじめ件数は小・中学校7件ずつ14件であり、あらゆる機会に「いじめは絶対許されない」と指導しています。12月中に「いじめ根絶チーム」の立ち上げを指示し、生徒指導主事会議も定期的に開催し、いじめ防止と、命の尊さを訴えています。

さらに、教師の資質向上のため、各種研修会や現職教育、訪問指導等により指導力向上に努めています。

問 児童虐待への対応を伺う。

答 「警察との連携」を強化し、「地域ぐるみ」による早期発見・早期対応等を図ります。

深谷弘

問 いじめ問題の背景について

問 いじめ克服について、文部科学省の方針は、学校や教職員、教育委員会の対応や家庭・保護者の責任の問題に向けられ、「対処療法」的な内容に終始していると感じます。いじめを根本的になくすためには、その背景にある問題

「格差社会」をつくり出した弱肉強食の競争原理が、そのまま政府の文教政策に持ち込まれていること」を解決しなければならぬと思えますが、市当局の見解を求めます。

答 いじめ問題に、現代社会の抱える問題が大きく影響していることは言うまでもありません。しかし、人間社会は、それぞれが違った考えや個性を持つ個人の集団であるため、人間関係でのトラブルが起きることは、以前からありました。こうしたトラブルが、今いじめという形で子供たちの人間関係に大きな影を落とし、深刻な問題になっている背景を、競争社会や学校教育のあり方に求めることが適切であるか否かは詳しい分析が必要であり、見解の分かれるところではあります。

問 秋まき麦の作付も終わり、加入申し込みが11月末で締め切られたが、市における確定した加入者の状況について伺います。

答 大信地区2名、東地区1

伊藤邦光

問 秋まき麦の作付も終わり、加入申し込みが11月末で締め切られたが、市における確定した加入者の状況について伺います。

答 大信地区2名、東地区1

臨時会報告

11月臨時会は、11月28日開かれ、議員、市長等、教育長の12月に支給される期末手当の支給割合を100分の175から170に、市職員の期末手当の支給

割合を100分の160から155に引き下げる条例4件を可決したほか、専決処分承認を求めた河内一般会計補正予算・福島県知事選挙に係る経費」を承認しました。



私たちは、お年寄りにお弁当を配食したり、家事援助を行うボランティア団体「生協くらしの助けあいの会」の一員です。福祉問題や環境問題に興味があり勉強をしています。市議会の中で福祉や環境についてどの

12月定例会を傍聴された方は33人

今回は初めて常任委員会を傍聴された「生協くらしの助けあいの会」3名の皆さん（青木ミヨさん、畑田麗子さん、岡野章子さん）に傍聴した感想などをお聞きました。

傍聴して感じたことは、思ったより発言がなくて静かだったこと、随分細かいところまで質問するのだなということでした。おかげさまで大変わかりやすかったです。それと傍聴者が少ないことに驚きました。そういう意味では、多くの皆さんに興味のある委員会を見てほしいし、市民の皆さんにもっと傍聴を呼びかける工夫をしていただきたいと思えます。

委員会の形式もわかりましたので、又機会を見つけて傍聴したいと思えます。

名の3名の認定農業者と聞いております。

農地・水・環境保全向上対策の取組状況と今後の課題について

問 最終的な取組み状況と残された集落についての対応はどのようにするのか、国に継続してできるよう要望すべきと思うが伺います。

答 本事業への取組みを要望している地域は、15地域。4月には地区採択申請を県に提出することになっています。また取組みなかった地域については、今までの地域活動でお願ひし、もしも追加採択がある場合、再度協議したいと考えています。

選挙・投票所入り口の改善について

問 段差を解消し、お年寄りが入りやすくすべきと思うが伺います。

答 関係各課に要望します。

玉川里子

問 高齢化対策と子育て支援について。国の代表としてフランス、スウェーデンを視察して、教育、福祉の充実した政策は、日本ではまだまだこれから真剣に取り組む必要が

あると実感してきました。日本でも独自に各自自治体でいろいろな対策を打ち出しているところがありますが、白河市としての今後の方針はいかがですか。

答 白河市も福祉、教育、子育て支援と数え切れないほどそれぞれに対応している。今後もしっかり推進してまいります。

問 ふくしま駅伝について。東地区は藤田選手の出身地でもあり、故郷マラソンも地域挙げて毎年盛大に実施している特に関心があるが、選手の選考方法は。

答 各大会の記録や地域、学校と打ち合わせ、慎重に決定しました。

問 来年は数多くの選挙が予定されていて、財政難の折、白河市としてはどのような節約を考えているのか。

答 経費はもちろん人件費や時間の調整など、よく検討し節約にしっかりと努めます。

大木信夫

問 白二中の白河第二市民体育館利用に關し、現在のラバーの床では本格的な練習ができないことや危険なことから要

望書が出されているが、早急に木の床に張り替えられないか。

答 体育館の床という特殊性を考え、大規模な改修を要し、現時点では厳しいものと考え

問 南相馬市は後年度の負担を考慮し、複合健康施設建設事業を見直す。本市の方が財政状況が厳しいが、図書館建設など大型事業を控えている。老朽化が進んでいる学校施設の建設が遅れることはないか。

答 実態を的確に把握し、緊急性や必要性を検討し年次計画により改築を実施したい。

問 県は県内3校ある高等技術専門学校の学科の一部を短大に昇格させるが、本市の考えは。

答 当白河地方は高等教育機関の空白地域であり、白河地方広域市町村圏及び本市として高等教育機関の設置を県に強く要望したところです。

問 白河市公設地方卸売市場の残留農薬確認検査の実施を。

答 市としては検査の実施は考えていないが、卸売業者を通じ基準の遵守を啓発していきたい。

傍聴席からひとこと

今回は初めて常任委員会を傍聴された「生協くらしの助けあいの会」3名の皆さん（青木ミヨさん、畑田麗子さん、岡野章子さん）に傍聴した感想などをお聞きました。

請 願

- 森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書提出の請願（採択）
 - 格差のない住民サービスを提供するための表郷図書館の設置についての請願（継続審査）
- ※採択した請願は、意見書案として提案されました。

意 見 書

- 森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書（可決）
- 耐震構造計算書偽装問題の被害者救済に関する意見書（可決）
- 障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書（可決）

※可決した意見書は、内閣総理大臣ほか関係機関に提出しました。

3 月定例会日程のお知らせ（予定）

2月28日(水)	定例会開会	(午前10時開議)
3月6日(火)	一般質問	(午前10時開議)
3月7日(水)	一般質問	(午前10時開議)
3月8日(木)	一般質問	(午前10時開議)
3月9日(金)	一般質問	(午前10時開議)
3月12日(月)	総括質疑	(午前10時開議)
3月13日(火)	議会運営委員会	
3月14日(水)	各常任委員会	
3月15日(木)	各常任委員会	
3月16日(金)	各常任委員会	
3月19日(月)	各常任委員会	
3月26日(月)	本会議・閉会	(午前10時開議)

※ この日程は、12月22日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には2月26日開催予定の議会運営委員会で決定します。傍聴する場合は、議会事務局にご確認ください。
電話 22-1111/内線 2411・2412



ひがし幼稚園を訪ねて

お誕生会会場は園児が作った金、銀、エメラルド色の輪が飾られている。それぞれの名前を呼ばれ、ほっぺに息をため、一気にローソクの灯を消すと大拍手。アトラクションのサクスカルトットと園児の合唱で幕を閉じた。この喜びに心おどらせる性格の良い明るい健康な園児だった。

松並 早津栄一

ひがし幼稚園の皆様、写真撮影のご協力ありがとうございました。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員を務める根本昌典氏が、平成18年12月22日で任期満了となるため、新たに齋須幸司氏の任命について、全会一致で同意しました。

○ 齋須 幸司（表郷金山）

人権擁護委員の候補者の推薦

人権擁護委員を務める鈴木俊雄氏が、平成19年3月31日で任期満了となるため、新たに藤澤ミツヨ氏を候補者として推薦することについて、全会一致で同意しました。

○ 藤澤ミツヨ（東下野出島）

編集後記

新年を迎え、早いもので白河市も合併後1年2カ月が経過、議会だよりも第5号の発行となりました。今後、議会だより編集に当たり、編集委員10人のもと新たな気持ちで「読みやすく、親しみやすい紙面づくり」に視点を置き、議会活動の様子を公正、公平な立場でお伝えすべく、協力し合い、活動してまいります。市民の皆様には、今後とも議会活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。



編集委員長

深谷幸次郎

副委員長

藤澤正典

編集委員

穂積栄治 飯村 守
我妻茂昭 須藤博之
鈴木博之 藤田久男
真船俊雄 渡部半一